

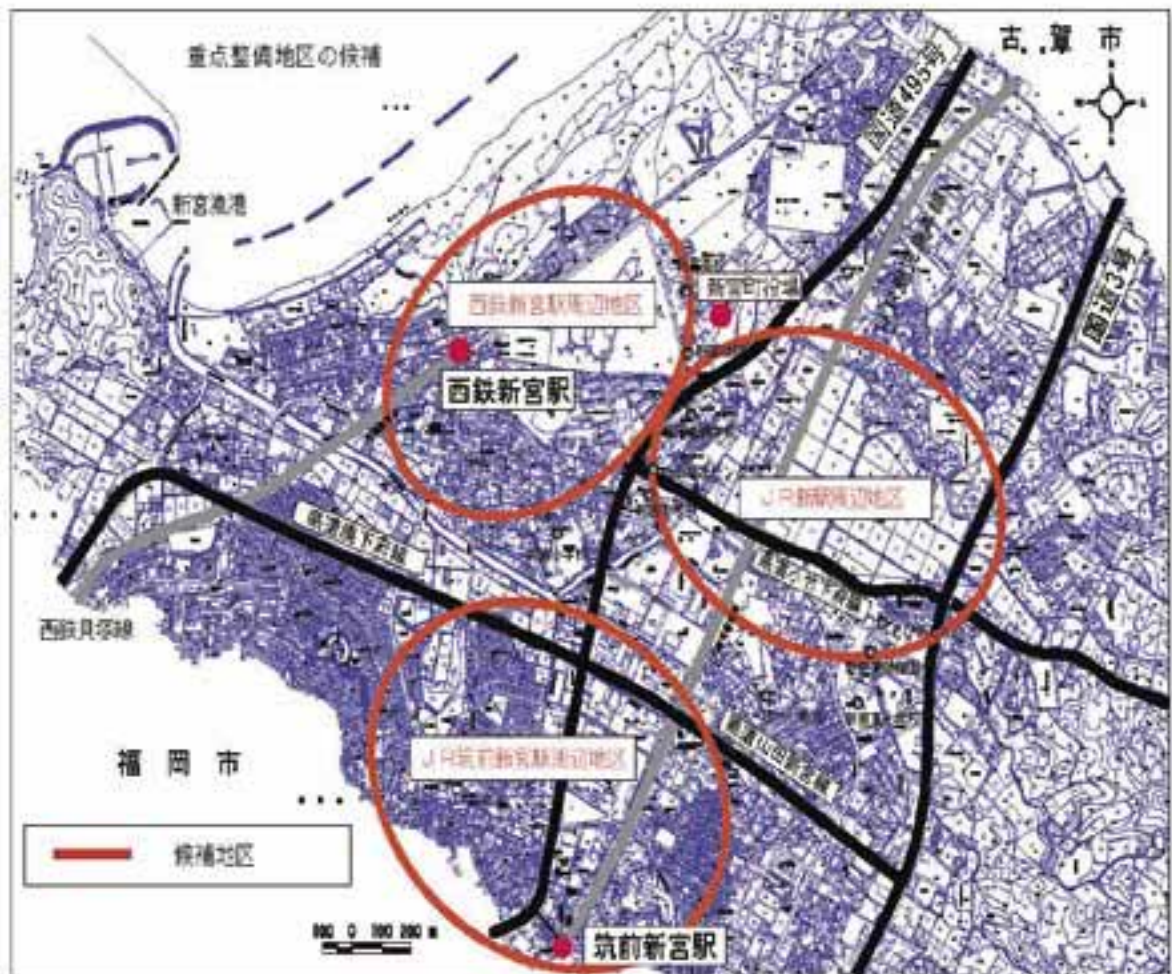
第3章 重点整備地区の整備計画

3-1 重点整備地区の設定

新宮町における「ひとにやさしいまちづくり」の実現を図るための重点整備地区の候補は、新宮町の将来のまちづくりを見据え、都市構造、整備の効果や効率性、緊急性等から以下の設定方針に基づいて検討を行いました。

■ 重点整備地区の設定方針

- 鉄道駅やバス停があり、移動ネットワーク上の主要な交通拠点であること。
- 高齢者や障がい者等の通行や施設等の利用が日常的に多いこと。
- 主要な公共的施設や高齢者や障がい者等の日常生活上必要な施設が立地していること。
- 人口が集中している地区、または、今後明らかに人口増加が見込まれる地区であること。



■ 重点整備地区候補地の概要と比較

| 地区 | 面積 乗降客数 | 主な施設等 | 現況と課題 |
|-------------|---|--|--|
| 西鉄新宮駅周辺地区 | ◆地区面積 約 50ha ◆乗降客 1日あたり 1,582人 (H18年) | 町役場 新宮幼稚園 杜の宮運動施設 下府1区公民館 下府2区公民館 | ○ 駅は貝塚線の終点駅で、乗降客数は年々減少している。駅及び駅前環境の改善計画が検討中である。 ○ 西鉄駅近郊は住宅地で高齢化が進み、高齢者等が必要とする店舗や医療施設等の日常生活関連施設の立地は少ない。 ○ 国道495号沿線の社会福祉センターや新宮中学校までは、歩道の無い道路が多く、安全に移動できる環境ではない。 ○ 駅北東部に杜の宮住宅団地(約20ha、計画人口約2,000人)が造成中で、その中に約3haの杜の宮運動施設(多目的グラウンド、テニスコート)が整備されている。 ● 役場はあるものの、日常生活関連施設が少なく、駅前環境の改善や地区外の主要公共的施設に安心して安全に移動できる歩行者空間の整備が必要である。 |
| JR筑前新宮駅周辺地区 | ◆地区面積 約 50ha ◆乗降客 1日あたり 21,864人 (H18年) | ハローデイ 新宮店 医療施設 金融機関 桜山手集会所 夜臼2区公民館 | ○ 駅舎や駅前環境が改善され、乗降客数も多い。 ○ 駅前には大規模店舗のスーパーをはじめ、小規模店舗、金融・医療等の施設と住宅が混在している。 ○ 駅周辺には住宅が密集しており、高齢化が進んでいる。 ○ 駅前地区は歩道の無い道路が多く、安全に移動できる環境ではない。一方駅に連絡する国道495号は自歩道整備や交差点改修が進められている。 ● 通勤・通学者や日常的な住民の利用が多いため、駅までの安全で快適な歩行者空間の確保が急務である。 |
| JR新駅周辺地区 | ◆地区面積 約 50ha ◆乗降客 — | 社会福祉センター ボランティアセンター 町研修所 新宮中学校 新宮中学校 グラウンド そびあしんぐう 医療施設 | ○ 高齢者や障がい者等が多く利用している「社会福祉センター」やJR鉄道東側には文化活動拠点の「そびあしんぐう」が立地している。 ○ これらの主要施設を結ぶ県道は、片側歩道で狭いため、安全に移動できる環境ではない。 ○ 本地区は、町の中心市街地整備地区として、現在JR新駅を核とした町の拠点整備が土地区画整理事業で進められている。 ● JR新駅の開発計画は、安全で利用しやすい施設や快適な歩行者空間などを踏まえた検討が必要である。 |

いずれの地区も新宮町を構成する主要な地区ではありますが、高齢者や障がい者等の通行や施設等の利用が最も多く、主要な公共的施設等が立地し、さらに「整備の実現性」を加味した上で、整備の効果や効率性の高い「JR新駅周辺地区」を重点整備地区として位置づけ、整備計画を策定することとしました。